

Atruko Kudo Mail Magazine 206

2014.08.14

●第31回ヨーロッパ・キリスト者の集い（ベルギー）



しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。(使徒の働き 1:8)

お元気でいらっしゃいますか？

今年も、主の守りと恵みの中で、第31回目のヨーロッパ・キリスト者の集いを、ブリュッセル日本語教会の主催により、ベルギーのレティで開催することが許されました。

私は、賛美チームのスタッフとして、各プログラムの賛美奉仕、「被災地のための賛美のタベ」、一時間半の「賛美セミナー」をさせていただきました。大会では隙間のない密な奉仕でしたが、日々十分な睡眠を取ることを心がけたおかげで、体調も守られ、感謝な奉仕をさせていただくことができました。また、数年来、共に奉仕を続けてきた、ミラノの内村まり子さん、渥美充代さん（彼女は神学校の学びを終え、今年春、イタリア・ミラノ賛美教会の伝道師に就任しました！）、オランダのペイトン朝子さん、ブリュッセルの神田望美さんと、数か月前から、集いに向けてメールとスカイプで準備を重ね、祈り合い、賛美についても共に学び合いながら準備を進めることができたのは、大きな喜びでした。

🌸 子ども伝道（プレ大会）

7月30日のプレ大会は、「子ども伝道」（子ども伝道奉仕者の学びのために一マルコ9：37）がテーマでした。

私が所属するドイツ人教会では、たくさんのお子があり、子ども伝道に非常に力を入れているので、大変興味あるテーマでした。私たちの教会にはKEB（チルドレン・エバジェリズム・ムーブメント）の伝道師が所属しています。彼女の大きな協力によって、教会の子どもたちは、聖書のことばにしっかり養われて成長してきました。

純粹で柔軟な心に絶えず神のみことばの種を蒔き、親たちが聖書のみことばに従って子供を教育すること、また、ティーンエイジャーになった時には、同世代の信仰仲間との交わりが、信仰を守り育む上で大切な要素であることを、プレ大会で分かち合いました。



🌸 伝道（本大会）

7月31日からの本大会のテーマは、「伝道」（私たちキリスト者の使命—マタイ28：19–20）でした。各プログラムでは、講師の先生方が、「パウロの言葉から学ぶ伝道」「青年への伝道」「ビジネスマンへの伝道」「教会の使命」「欧州邦人伝道」「主イエスの伝道論」など、それぞれ、大変興味深いメッセージを語ってくださいました。

特に、「賛美のタベ」の中でショートメッセージを語ってくださった、細川勝利先生の深く鋭いメッセージから、伝道は聖霊の働きによるものであることを、深く心に刻ませていただく時となりました。



欧州には約19万人の日本人が在住しています。どうか、主が、私たちの信仰を強めてくださり、みことばと聖霊によってこの世から聖め分かち、御霊に満たされた者として、欧州伝道のために用いてくださいますように！

🌸 主に喜ばれる賛美（賛美セミナー）

私は、8月1日（金）の午後に、「主に喜ばれる賛美」のテーマのもと、一時間半の「賛美セミナー」をさせていただきました。自由参加でしたが、約80人の方々が参加してくださいました。皆さんにとって、「賛美」が大きなテーマであることを思われました。

セミナー内容に関してはしばらく試行錯誤を重ねた末、最終的に、去年の4時間の賛美セミナーの要約をお伝えすることにしました。どれも大切な内容で、ひとつだけ取り上げることが出来なかったからです。反面、それぞれの内容を詳しくお伝えすることは出来なくなりますが、祈り準備し、皆さんに、最も大切なポイントを提示させていただきました。そして、さらに学びたい方には、DVDや、資料などで学んでくださるようお勧めしました。



特に「ビート音楽とその影響」に関しては、ほとんどの方にとって初めて聴く内容だったと思います。多くの反響が寄せられました。ある先生は、「今までモヤモヤしていたものが、すっきりした感じがした」とおっしゃいました。また、ある方は、さらに詳しい資料を求めて来られたので、後でお送りしましたら、「自分は病理関係者なので、一般人より、体、精神への打撃がどんなものが理解できる。これは大変なことです」というお返事をいただきました。

私も、3年前までは知りませんでしたので、今回のセミナーを聴いてくださった多くの皆さんにとっては、私が3年前に初めてこの事実を知らされた時のような驚きであったことと思います。そして、聴いてくださった皆さんが、これから、このことへの理解を深め、真に主に喜ばれる賛美を求めていってくださることを、心から願っています。

🎵 ハレルヤ・コーラス！（「賛美のタベ」にて）



今年の大会では、賛美チームへの申込者が少なかったもので、土曜の午後の「賛美のタベ」でハレルヤ・コーラスを歌おうかどうか、とても迷いました。また、例年歌って来ているので、マンネリ化するのいやだなあ、という思いもあり、しばらくプログラムの導きを祈りました。

そんな時、私は、ジェームス O. フレーザー（James O. Fraser 1886-1938）という、1906年に、当時のチャイナ・インランド・ミッション（現・OMF International）から遣わされて、中国の雲南省のリス族に伝道したイギリス人宣教師の伝記フィルムを見たのです。フレーザー宣教師は祈りの人ででした。多くの人々が悪魔崇拝をしていたリス族への宣教の働きは困難を極めました。彼自身、鬱病になり、一年間苦しみました。鬱病から少しずつ癒されてくると、彼は、多くの時間を祈りに費やすようになりました。そして、ある日、「祈ったことは、すでに受けた」という確信が与えられたのです。イギリスの母親も、信仰の友に呼びかけて頻繁に祈祷会を開き、熱心な祈りをもって彼を支えました。

今、リス族の80%がクリスチャンです。伝記フィルムの最後は、リス族の大勢のクリスチャンたちが、民族衣装を着て、中国語で、しかもアカペラで、ハレルヤ・コーラスを歌っているシーンで終わっていました。

ハレルヤ、全能であり、私たちの神である主は王となられた。ハレルヤ！
この世の国は、我らの主と、そのメシアのものとなった。主は世々限りなく統治される。ハレルヤ！
王の王！主の主！
主は世々限りなく統治される、ハレルヤ！

感動で涙が溢れました。そして、欧州キリスト者の集いの賛美チームも、人数は少なくとも、声を合わせて、王の王、主の主であるメシアをほめたたえ、限りなく続く王国を宣言したいと思いました。

その数日後、急遽ベルリンの鈴木のぞみさんが大会に参加されるというニュースが届きました。ベルリンのルター派教会でカントール（教会音楽監督/専属オルガニスト・指揮者）として働いていたのぞみさんは、7年前に脳出血で倒れました。欧州中のクリスチャンたちが祈りの手を上げました。



しかし、ここ2年ほど、彼女のニュースが途絶えていました。今どうしているのだろう、そう思っていたところに、何と、のぞみさんが集いに参加して、賛美チームと一緒に賛美したいという知らせが届いたのです！そのニュースを聞いて、また涙！そして、以前、のぞみさんが、集いでよく指揮をしておられたハレルヤ・コーラスを、ここまで彼女を回復させてくださった全能の主、共にささげさせていただきたいと思いました。（写真：後列右から3人目）

のぞみさんは、8年前と同じ、大輪のバラのような美しい笑顔で集いに現れました。そして、彼女の口からは、いつも神様への感謝が溢れていました。「感謝！感謝！」「神様って、ほんとに素晴らしい！」「よかった！」「ありがとう！」・・・。「賛美のタベ」のプログラムの中で賛美した、ヘンデルの『サラバンド（わが主イエスを信じる限り）』の、「悲しみと試練の中で、主は私をつくり変える」という歌詞の証しを、のぞみさんの姿に見る思いでした。

最終的に、多くの方々が賛美チームに加わってくださり、今年も声高らかに、「ハレルヤ・コーラス」を、主の主、王の王であるイエス様にささげることができました。ハレルヤ！

~~~~~

## 🌸 感謝とお祈りのお願い

1. 皆さまにお祈りいただいていた大阪の住居ですが、先週、見つかりました！お祈りを、ほんとうにありがとうございました！30㎡以上6万円以下という、大阪の一等地、北浜では不可能と思えた願いを主は聞いてくださり、32.5㎡、共益費込で57000円です。築27年の古いビルですが、AKWMスタッフが下見した結果、コンディションは悪くないとのことでした。しかも、ビル会社との直接契約なので手数料なし、かつ9月の家賃が無料というサービスです。私は9月16日に大阪に到着、入居します。どうぞ、必要な家財の調達や荷物の整理が速やかにできますよう、また、それに伴う経済的必要も主が備えてくださいますようお祈りください。
2. 日本へ行くまで、あと一か月となりました。秋からの活動の準備を、主の導きの中で滞りなく進めることができますよう、お祈りください。

主の溢れる恵みが皆さまと共にありますように！

Atsuko Kudo

